

天草家保通信

熊本地草家畜保健衛生所 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 ファックス番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

韓国で家畜伝染病が発生しています

韓国では昨年11月に口蹄疫が発生し、未だに終息していません。1月から韓国全土で口蹄疫ワクチン接種が行われていますが、発生は拡大を続けており、殺処分対象は2月16日時点で、牛約15万頭(国内の5%)、豚約319万頭(国内の33%)と大きな被害となっています。

また、12月に発生した高病原性鳥インフルエンザも鶏やアヒル農場43件で発生が相次ぎ、周辺農場も含めて243農場約541万羽が殺処分の対象となっています。



2月は口蹄疫対策強化月間です

韓国をはじめとした周辺地域での相次ぐ口蹄疫発生をうけて、農林水産省は2月を口蹄疫対策強化月間とし、全国の農場で口蹄疫対策の実態調査を実施しています。飼養者の皆さんには再度、ウイルスの侵入防止に万全を期していただきますよう、よろしくお願いします。

<口蹄疫対策のポイント>

- ・自分の農場に入る時は、靴や持ち込む物の消毒を徹底しましょう。
- ・外部からの人や車をなるべく農場に入れないようにしましょう。
- ・畜産関係車をはじめ農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒しましょう。
- ・発生国に滞在していたためウイルスを持ち込む可能性がある人や発生国から輸入された物を農場に近づけないようにしましょう。また、従業員の方も含めて、口蹄疫が発生している国への渡航は、できる限り控えましょう。
- ・口蹄疫を広げないためには、早期発見がとても大切です。毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

牛異常産ワクチンを接種しましょう

牛の奇形や流死産を起こす主な病気には アカバネ病 チュウザン病 アイノウイルス感染症 牛流行熱 イバラキ病があります。これらの病気の原因となるウイルスは、アルボウイルスと呼ばれ、吸血昆虫(ヌカカ等)を媒介して伝染します。よって、吸血昆虫が発生する前である、**4月～5月中旬に牛異常産ワクチンを接種**することで、異常産を予防することができます。

(質問) どうして接種するの？

(回答) 地域でワクチン接種を行い、免疫力を持っている牛が一定の割合以上いると、ウイルスが増えたり、感染が広がったりする事を防止することができ、**免疫力の落ちた牛も感染しにくくなります**。そのため、**地域一丸**となってワクチンを接種して、病原体に対する免疫力を牛に持たせておくことが大切です。

(質問) どの牛に接種すればいいの？

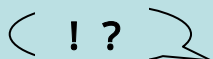
(回答) 今年の秋までに種付けをする予定の繁殖用雌牛を対象に、

<今回初めて接種する牛、昨年接種していない牛> 4週間隔で2回接種

<昨年接種している牛> 年1回(今回の春)の追加接種で十分効果があります。

定期的にワクチン接種をしないしていると、その牛の免疫力は次第に下がっていきますので毎年の接種を心がけてください。

ワクチン接種の申し込みは2月までです。農協や市町の担当までお願いします。



家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668